

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 人工関節置換術患者に対して三次元加速度センサーを用いた歩行解析の研究 』  
研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院  
研究責任者 整形外科 職位・氏名 教授 池上 博泰

### 【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は 人工関節置換術患者<sup>※1</sup>の歩容<sup>※2</sup>の変化を解析することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、症例に応じた適切な運動療法を選択し、術後のリハビリテーション効果を向上させ、関節痛との関連の解明が期待されます。

※1 上肢、骨盤、下肢疾患に対して金属でできた人工関節を挿入し徐痛、可動域を改善させる手術方法です。

※2 歩容とは、歩く時の姿勢、動作、歩幅などの特徴のことです。

### 【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

### 【研究に用いられる試料・情報】

情報:病歴、治療歴、副作用等の発生状況、画像評価(単純 X 線や単純 CT 画像、MRI 画像)、歩行解析データ、可動域、筋力

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024 年 12 月より利用を開始します

### 【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

他機関への提供は行わないため該当せず

### 【試料・情報の取得方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2022 年 8 月～2024 年 8 月までに人工関節置換術(肩関節、膝関節、股関節)を施行し主治医の指示のもと、理学療法士によって歩行解析を行なった患者 計 60 例程度

方 法:

加速度センサーを装着し 10m の歩行距離を前後 3m の助走幅を持たせた上で、通常歩行速度と最速歩行速度にて歩行を行い、診療録や歩行解析データから三次元加速度センサーによる歩行分析データを抽出し、解析を行います。

**【研究組織】**

代表施設名： 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者： 池上 博泰 役職： 教授

**【利用する者の範囲】**

東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者： 池上 博泰

**【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】**

東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者： 池上 博泰

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年1月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用いたしません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

※研究対象者が高齢者や死者の場合、家族からのオプトアウト申し出に対応します。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター 大橋病院 整形外科

職位・氏名 教授 池上 博泰

電話 03-3468-1251 内線 2032